

GMOインターネット 熊谷正寿を直撃! なぜ今、仮想通貨なのか?

65  
創刊65周年

# 財界

ZAikai  
a Japanese business biweekly

ビールの定義が変更

ビールを飲まない若い世代の  
潜在需要掘り起こしに動く  
ビール各社

春季特大号  
2018 5/15

◎インタビュー

生団連会長  
(ゼンショーHD会長兼社長)

小川 賢太郎

カブコン会長CEO

辻本 憲三

日の丸リムジングループ  
会長

富田 浩安

31期連続増収増益、日本の全産業にとってアマゾンが敵となる中  
創業の原点に徹してニトリHD・似鳥昭雄の  
わたしに引退はない、新市場を創り続ける!

本誌主幹  
村田 博文



表紙の人  
日本プロフェッショナル  
野球組織コミッショナー  
斉藤 惇  
撮影 齊田 勤

平成30年5月15日発行(隔週火曜日)平成30年4月24日発売 昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第66巻第10号



# 「女性はもちろん、男性にも 気軽に来てもらえるような 環境づくりをしていく」

東京皮膚科・形成外科総院長 池田欣生 × イーストワン皮膚科・形成外科院長 白石美緒

8回目のプロフェッショナル対談は、東京・品川のイーストワン皮膚科・形成外科院長、白石美緒さんが登場。理工学部で人間工学を研究していた白石さんは医学部に入り直して医師の道へ転身。プライベートではポールダンスに興じるなど、医師と音楽家として二足の草鞋を履く池田氏との共通点も多い。「最適な価格設定で最高の医療やサービスを提供していく」と語る二人の特別対談――。

### 理工学部から転身して 医師を目指す

―― 今回のゲストは、イーストワン皮膚科・形成外科院長の白石美緒さんです。まずは白石先生が医者を目指した動機からお話ししてもらえますか。

白石 わたしはもともと実家が整形外科の病院を開業していました。両親が共に整形外科医なんです。だから、両親の中ではいずれは医者

になって跡を継いでほしいという願望があったんですけど、わたしは親と一緒に仕事には就きたくないと思って、始めは理工学部に進学したんです。

池田 そこでは何を勉強したんですか。

白石 人間工学の研究室に入りまして、視覚刺激による脳の誘発電位の研究などを勉強していました。ところが、大学を卒業する頃になって、やはり、両親から医者になる気はないのかと言われて、実家の病院をわたしが潰してしまうのも嫌だし、そこまで言われるのであれば、両親の期待にも応えたいということで、勉強し直して医学部に入り直したのです。

池田 それで整形外科医になられたんですね。

白石 ええ。それで整形外科医の医局に入り、実家にオペ室があるので、麻酔科の免許も取得しました。実は麻酔科医だけは標榜するのには厚生労働省からの許可が必要です。それでわたしも「麻酔科標榜医」という肩書がつくようになりました。

そうして麻酔科と整形外科をやるようになって、麻酔のお手伝いをしていく中で15年くらい前に池田先生

と知り合い、池田先生が専門にされている美容医療についても勉強しようと考えたというのが、これまでの流れです。

池田 そうですよ。当初は全身麻酔などをお願いするために白石先生に来てもらっていましたからね。でも、だんだん美容医療も患者さんの身体への負担を和らげるために、全身麻酔から局所麻酔で安全に行うような流れになっていきました。

つまり、世界的に美容医療の手術は大規模なものが少なくなって、小規模化しているんです。それで白石先生には麻酔だけでなく、いろいろな手伝ってもらおうと考えるようになりました。

白石 わたしも池田先生のもとで美容医療の勉強を始めたんですが、やってみたら整形外科と美容医療は似て非なるもので、かなり池田先生に鍛えられましたね。

### 最先端の医療を 提供するために

―― 整形外科と美容医療の一番の違いは何ですか。

白石 よく言われるのは、美容医療は料金が高くないかと。自由診療の部分も大きいので、美容医療全体

に対するイメージが全く違います。

池田 やはり、最先端の医療を提供しているのだから、既存の治療よりも安い値段であるはずがありません。コピー商品ばかり使っても安い治療の方がいいと思う人は、そういう病院に行けばいいと思いますし、われわれは自分たちの医療に自信を持っています。

特に例えば、注射針一つとっても、身体の中に注入するものがコピー商品だったら、相当危険ですよ。また、食事だって健康的な身体をつくりたいなら、有機野菜の食事をとるとか、皆さん多少お金をかけてもこだわりたいですね。

われわれはコピー商品など絶対に使いません。そのために最高の手術道具を揃え、患者さんの緊張をほぐすために病院の内装もキレイにしています。こういう部分って外の人には伝わりにくいんですが、とても大事なことだと思っています。

白石 例えば、池田先生が開発された「世界一細い針」というのがあるんですけど、患者さんにはこの凄さが伝わりにくいんですね。他にも当院では「切らない眼瞼下垂手術」や「腫れの少ない二重まぶた手術」など、安心・安全な美容医療の普及

### 趣味と仕事の関係は？

―― お二人はユニークな趣味があることでも共通点があります。池田先生はDJ、白石先生はポールダンスをされているとのこと、趣味と仕事の関係についてはどう考えますか。



しらいし・みお

東海大学卒業。順天堂医院整形外科入局、整形外科医局員として働きつつ、順天堂医院麻酔科ペインクリニック科で研修後に順天堂医院麻酔科ペインクリニック科入局、常勤助手として手術室、ペインクリニック外来で診療を担当。2012年4月より東京皮膚科・形成外科、イーストワン皮膚科・形成外科勤務



**池田** わたしは3歳の頃からピアノやエレクトーンをやるようになって、音楽にずっと親しんできました。学生時代には作詞をしたり、バンドをやるようになったんですが、医者になってから仕事が忙しくて、しばらく疎遠になっていましたね。

ところが、2年ぐらいまでに忙しすぎて倒れた時期がありまして、入院中にベッドで今まで生きてきた中で楽しかったことって何だろうと考えたんです。そしたら音楽のことはかり出てくる。何年か前の誕生日にDJをしていて、その時いた800人全員が「おめでとう」と言ってく



2018年3月内幸町ホールでポールダンスを披露

れた瞬間が一番嬉しかったな、と思ったんです。

それで音楽関係の仕事を再開しまして、イベントを開いたら7000人くらいが集まった。今年の夏にはお台場でまたイベントをやるうと思っていて、それは1万人くらいの規模にしたいと考えています。

やっぱり、音楽は仕事を離れていい気分転換になると思いますし、何よりこれだけの人たちが集まってくるだけの人脈ができたと思うと嬉しいですね。

**白石** それは同じですね。わたしはダンスとクラシックバレ



いけだ・よしお

大阪医科大学卒業。1996年大阪医科大学付属病院形成外科入局。同大学付属病院形成外科病棟医長、東海大学病院形成外科・美容外科臨床助手を経て、2000年大阪いけだクリニック開院。04年銀座いけだクリニック開院。現在は東京皮膚科・形成外科総院長の他、東海大学病院形成外科非常勤講師、一般社団法人・JAAS日本アンチエイジング外科学会理事をつとめる

とがなかったであろう人たちに会えたというのは、わたしの人生を豊かにしてくれたと思っています。

**池田** 海外公演もされてますもんね。

**白石** ええ。シンガポールと香港でショーをやった時もありましたね。やってみたらとにかく面白くて、1週間に15時間くらい練習していた時間もありません。

わたしの知り合いはポールダンスをオリンピックの正式種目にしたいと言っています。ポールを立てるだけで気軽にできる競技なので、これからもう少しポールダンスの認知度も広がってほしいなと思います。

**アメリカでは見た目が会社の評価や信用にも影響**

——では、最後にお二人のこれからの抱負を聞かせてもらえますか。

**池田** 今年は年明けから海外に行く機会も多くなって、韓国の再生医療系の会社と新商品の開発ができないか打ち合わせに行ったりしていますし、中国も最近経済発展に伴い生活水準が高くなってきたので、見た目に気を使う人が増えてきました。中国はもう日本や韓国を超えて、世界2位の美容大国です。世界一のアメリカ

力を抜く日もやってくるのかもしれない。

アメリカは見た目を重視する国なので、特にリーダー層の人たちは見た目を非常に気にするんです。だから、顔にシワがあつたりすると、シワを治すお金もないのかと思われたりするくらいで、会社の評価や信用にも関わってくると思うんです。

これは日本でも同じだと思います。やはり、見た目が若いと周りの印象もいい。ですから、見た目に悩まれている方がいらつしやるのであれば、いつでも当院に来ていただければと思います。

**白石** そうですね。イーストワン皮膚科・形成外科は、銀座ではなく品川にありますし、月曜から土曜まで形成外科や皮膚科の女医がいますので、銀座院とは違った特色を出しているのもいいなと思います。

例えば、場所柄、品川駅の目の前にあるということ、



東京皮膚科・形成外科銀座院

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8  
ラウンドクロス銀座 3F

TEL 03-3545-8000

HP <http://www.251901.net/>

イーストワン皮膚科・形成外科

〒108-0075 東京都港区港南2-16-1  
品川イーストワンタワービル3F

TEL 03-5479-3388

HP <http://e-onetower.jp/>

工をずっとやっていて、クラシックバレエは受験や結婚、出産で止めた時期もあったんですけど、ダンスは続けていたんですね。

そういう中で、10年ぐらい前にたまたま当直でテレビを見ていたら、ポールダンスの教室があるということを知りました。しかも、教室の場所がたまたま自宅から歩いていける場所だったので、行ってみようと思ったのです。

**池田** 今はだいぶポールダンスも定着したと思いますが、10年前というと、ちょうどブームになった頃です。

すかね。

**白石** そうですね。もともとダンスの基礎があつたので、面白かったですし、イベントで衣装を着て踊ったりすると気分が上がって楽しいです。わたしはヨガもやっているんですが、ヨガは気持ちを落ち着ける運動ですし、ポールダンスは気持ちを上げる運動で、医者の仕事をする上でもいい効果があると思います。

池田先生も仰っていましたが、趣味が無いとどうしても人脈も医者だけの狭い世界になってしまいますよね。でも、医者の世界では出会うこ

男性の方が出張の前後に来たりして疲労回復点滴とか、デトックス注射を受けていく方もいらつしやいます。また、男性はゴルフをされている人が多いので、結構、小さなシミができていく人が多いですね。小さなシミなら簡単に除去することができまして、肌をきれいにするとか、目の下のクマを目立たせなくするという人は結構多いです。

ですから、女性の様々な肌の悩みに答えていくのはもちろんですけど、男性の方にもっと気軽に来てもらえるような場所になりたいと思っています。